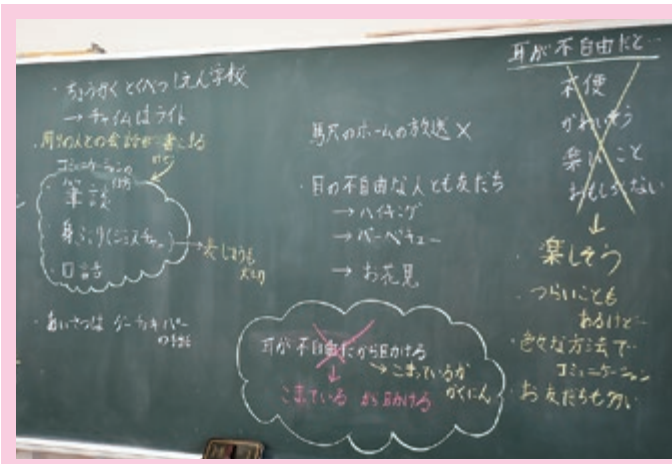


あこっ社協だより



令和3年度社協事業計画・予算	4 P
あこっ福祉ニュース	6 P
介護保険について考えよう！ヘルパー編⑤	
移送サービスボランティア実習講座	
心配ごと相談所のご案内	
ひきこもり家族のつどい	7 P
ちょっといい話	
卒業して不用になった学生服・体操服ありませんか？	
ひとり親家庭サポート事業利用者募集	8 P

(特集) 教えてください
新しい明日のために
できること



教 え て く だ さ い

新しい明日のためにできること

新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな活動や行事が制限され、休止・中止されることが相次いでいます。緊急事態宣言は解除されましたが（令和3年3月末現在）、流行する以前のような生活や活動は難しくなっています。

今月の特集では、コロナ禍の中で、今までできていたけれど難しくなったことを、工夫してできることに変えて活動されている団体や取り組みについてご紹介します。

坂越小学校 キャップハンディ体験学習（手話） 対面授業→録画授業



坂越小学校から、「コロナ禍でも子どもにも手話の体験学習をさせてあげたい」と社会福祉協議会に相談がありました。録画の授業は初の試みでしたが、講師の方々の協力で、実現しました。
授業では、事前に収録した録画を見ながら聴覚障がいのある方のコミュニケーション方法や生活などについて理解を深めました。

『コロナに負けない』

「コロナやからインタビューはできへんな！」

耳の不自由な方について調べている際、子どもたちからこんな言葉が飛び出しました。

「もしコロナじゃなかったらどう調べていた？」「コロナだから本当にできないのかな？」…と色々考えを出し合ううちに、リモートでインタビューしようということになりました。実際には子どもたちからの質問を私がまとめてインタビューし、その様子をビデオ撮影する形でしたが、それでも「自分たちで考えたことが叶った！」とみんな満足そうでした。

今年度は、我慢を強いられる学校生活でした。特に3学期の緊急事態宣言下では、多くの制限が子どもたちを縛りました。そんな中でも、自分なりの楽しみを見つけ、いきいきと過ごす子どもたちの姿は頼もしくもありました。

3年生最後の日、「一年間楽しかった！」と口々に話し、思い出を振り返りながら涙を流す子たち…コロナ禍でも充実した学校生活を送れたのだと、ほっと胸をなでおろした瞬間でした。そして、「コロナに負けない」その気概を子どもたちから感じた瞬間でもありました。



担任
本郷 裕太 先生



「コロナでできないと思っていたけど、みんな色々考えて工夫してできたので良かったです。」

ボランティアグループ 一華会

絵手紙の訪問指導→作品を届ける



毎月1回、旬の食べ物や草花、風景などの絵手紙を作成していた一華会。作品を配布したり展示するだけでなく、施設に訪問し、絵手紙作成の指導も行っていました。

コロナの影響で訪問が難しくなった時、作品を届ける活動を思い付きました。

『自分にできることを探して』



代表
真殿 澄江 さん

普段は施設を訪問し、利用者に絵手紙の描き方を教えながら一緒に描いていますが、コロナになってからは訪問することができなくなり、活動の回数も減ってしまいました。

テレビを見ても暗い話題ばかりなので、何かみんなが明るくなるようなことが自分にできないかと考え、絵手紙をお届けすることならできかなと思いつきました。他の会員に話したところ、賛成してくれ、今回の取り組みが決定しました。

絵手紙の魅力は、一枚の白い紙に花や人形などを生き生きと描くことができることです。今は直接お会いすることが難しいですが、お届けした季節の絵手紙を見ることで、利用者の方の良い刺激になればと思っています。作品を披露する場があると、私たちも張り合いがあります。

今後もしばらくはコロナの影響があるかと思いますが、その時自分にできることを探して活動を続けていきたいです。



見た時、涙が出ました。
しんどいこともありますが、
勇気ももらいました。
ありがとうございます。



新規感染者の減少や、ワクチン接種の開始など、新型コロナウイルスの収束に向けて少しずつですが世界は動きつつあります。今はまだ油断ができない状況ですが、今回紹介した事例のように、「工夫すればできるかもしれない」こともあります。今後の地域での活動再開のヒントや、活動を始めるきっかけにいただけたらと思います。

社協としても、そういった活動を支援していきたいと考えていますので、ぜひご相談ください。

また、皆さんの周りや地域で「こんな活動をしている！」ということがありましたら、社協へご連絡ください。

令和3年度 社協事業計画・予算

3月15日理事会・3月24日評議員会で、令和3年度の事業計画並びに予算が審議・議決されました。

事業方針

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会として、コロナ禍においてもこれまでのつながりを切らさないようにさまざまな生活・福祉課題を受け止め、第2次地域福祉推進計画の基本理念である「支えあい 助けあう ところつながる やさしいまち あこう」の実現に向け、次の重点事項に取り組みます。

重点事項

①第2次地域福祉推進計画の推進

昨年12月に策定した「第2次地域福祉推進計画中間見直し書」と本計画の着実な推進を図るため、計画の進捗状況や新たな福祉課題への対応などを検証・検討し、各種事業の推進に積極的に取り組みます。

②社会福祉協議会の体制強化

社協の目的・意義や活動などの周知・啓発を進めるとともに、組織体制の強化に努めます。

③福祉への関心の向上

広報紙やSNS、ホームページなどを活用し、定期的かつタイムリーな情報発信に努めます。

④地域福祉の充実強化

生活支援コーディネーターを配置することにより、「ふれあい・いきいきサロン」「地域の困りごと応援隊」などを通じ、地域での生活支援体制づくりに努めるとともに、第2層の協議体設置に向けた支援・検討を行います。



⑤在宅福祉サービスの積極的な展開

「友愛訪問」「給食サービス」「移送サービス」などを通じ、住民相互の助けあい活動の充実を図ります。



⑥児童福祉活動の充実

「おもちゃライブラリー事業」など、子育て支援の促進を図ります。「ひとり親家庭中学生体操服等購入助成事業」については、新たに学生服購入についても助成対象とします。

⑦ボランティア活動及び福祉教育の積極的な推進

「ボランティア養成講座」「災害ボランティアセンター開設訓練」「福祉協力校指定事業」などにより、ボランティアの裾野の拡大に努めます。



⑧相談支援機能の充実

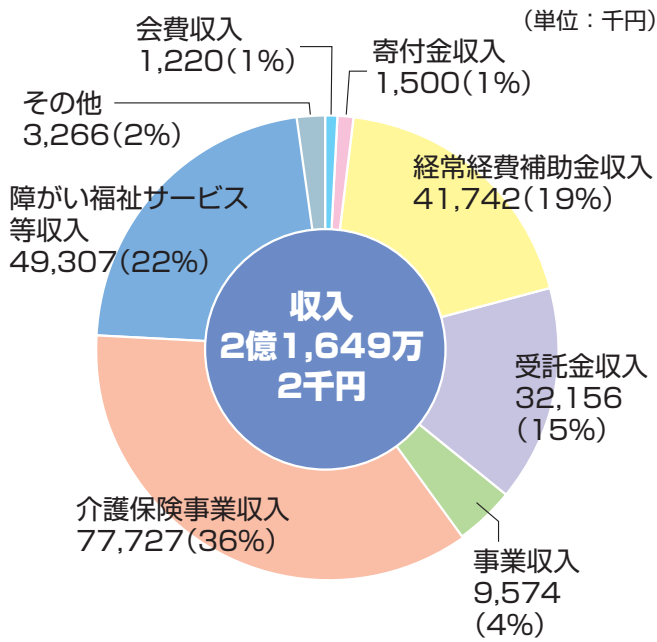
「心配ごと相談」「資金貸付事業」などを通じ、市民の皆さんが安心できる相談・生活支援に努めます。「ひきこもり支援事業」では、ひきこもり状態にある方や家族の居場所を継続して開設する他、社会福祉課相談窓口「え〜る」の出張相談や、学習支援等として他団体に居場所を貸出し、居場所の有効活用を図ります。

⑨総合福祉会館運営事業の円滑な推進

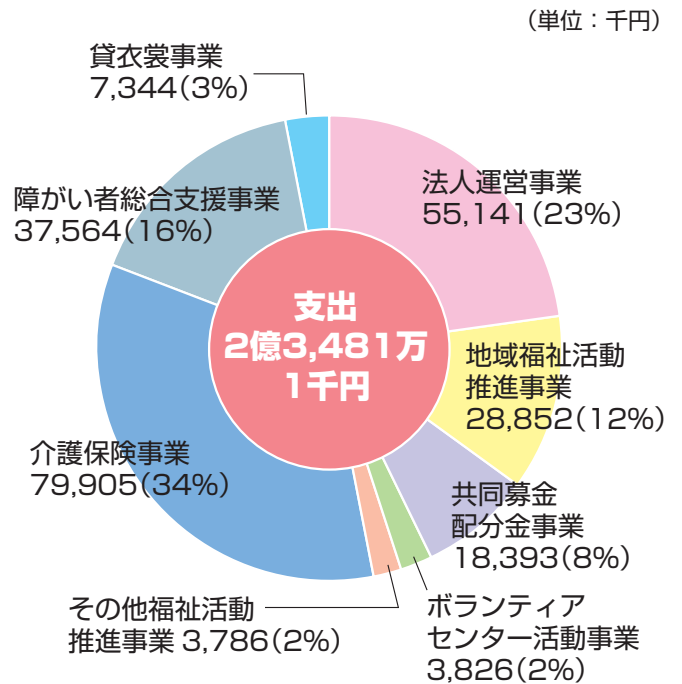
⑩介護保険事業等の安定した経営体制の確立

制度改正に適切に対応するとともに、地域の中でその人らしい暮らしを支える質の高い福祉サービスを提供していくために、人材の育成を充実させるとともに、利用者の方々の期待に応えられる介護福祉サービスの向上に努めます。

収入の部



支出の部



会費収入	個人・法人からの賛助会費
寄付金収入	善意銀行への預託金
経常経費補助金収入	市、県からの補助金 共同募金、歳末たすけあい募金配分金
受託金収入	市、県からの受託金
事業収入	貸衣裳事業収入 給食サービス利用料収入ほか
介護保険事業収入	訪問介護事業・居宅介護支援事業の 介護報酬および利用者負担金
障害福祉サービス等収入	障害者(児)へのホームヘルパー派遣・相談支援事業による介護報酬および利用者負担金
その他	積立資産取崩収入ほか

法人運営事業	広報紙発行、福祉のつどい 総合福祉会館管理費 事務局職員人件費ほか
地域福祉活動推進事業	給食サービス、移送サービス 敬老事業、ひきこもり支援事業ほか
共同募金配分金事業	友愛訪問事業、三世代交流もちつき ふれあい・いきいきサロン 福祉協力校指定事業ほか
ボランティアセンター活動事業	ボランティアセンター運営費 ボランティア養成講座ほか
その他福祉活動推進事業	心配ごと相談事業 福祉サービス利用援助事業 資金貸付事業ほか
介護保険事業	訪問介護事業 居宅介護支援事業
障害者総合支援事業	障害者(児)へのホームヘルプ事業 相談支援事業
貸衣裳事業	婚礼衣裳等の貸出



令和3年度社協の予算と事業計画については、スペースの都合により、一部のみ紹介しています。詳しい内容は、ホームページまたは社協事務所の窓口でご覧いただけます。

(単位：千円)

当期資金収支差額	△ 18,319
前期末支払資金残高	82,375
当期末支払資金残高	64,056

まち発見!

あこう福祉ニュース



正しく恐れて、楽しく集う

3月8日(月)、小地域福祉活動リーダー研修会を開催し、85名が参加しました。講師には、ご近所福祉クリエイターの酒井保氏を迎え、支え合いや社会参加の重要性から、コロナ禍でもつながり続けることの大切さを話されました。これからも、コロナ“だけど”できることを、一緒に考えていきましょう。



手話をもっと身近に

2月27日(土)手話啓発講座を開催しました。赤穂ろうあ協会の方を講師に迎え、聴覚障がいのある方が生活を上手に送る上で困ることや、「身振り」「筆談」「口話」など手話以外のコミュニケーション方法、手話での挨拶や自己紹介について学びました。講座は、笑いありのとても楽しい雰囲気、手話を知る良いきっかけになりました。



少しでも役に立てたら

故奥野一子様ご姉妹より、福祉用具購入費を寄付していただきました。

購入した車いす8台と歩行器2台は、福祉用具貸与事業の備品として登録し、日常生活に支障のある方に無料で貸し出しをします。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

気持ちを込めて朗読を

3月12日(金)朗読ボランティアグループ来夢が朗読発表会を開催し、来夢が作成した録音CDを聴いているリスナーの方々も参加されました。会員が1年間練習を重ねた集大成として気持ちのこもった朗読を行い、参加者の心に響くような朗読発表会となりました。

声で伝える

3月16日(火)、昨年の10月から10回開講していた初級朗読講座が終了しました。視覚障がいのある方に新聞や本などの内容をCDに録音し、声で伝えている「赤穂朗読ボランティアグループ来夢」の方が講師となり、受講者は、発声方法や声の抑揚の付け方など、朗読の基本的な技術を学びました。



介護保険について考えよう！ ヘルパー編⑤

●訪問介護（ホームヘルプ）とは？

利用者の「できないこと」を手伝い、ご自宅で“自分らしい生活”を送れるよう、「できること」を増やしていく支援です。

『身体介護（直接身体に触れて行う援助）』のうち、今回は「入浴介助・衣類の着脱介助」について紹介します。

身体の清潔を保ち、自宅で安全に入浴（シャワー浴）が出来るように、準備や後片付けを含め、入浴前後の衣類の着脱、入浴動作の見守り、出来にくい所の介助を行います。

他にも外出時や、起床・就寝前の衣類の交換など、利用者の自立度・介護度に合わせた介助を行います。



心配ごと相談所のご案内

（4月14日～5月12日まで）

【一般相談】 4月14日（水） 4月28日（水）
5月12日（水）

【弁護士相談】（要予約） 4月21日（水）

【カウンセラーによるこころの相談】（要予約）
4月28日（水） 5月12日（水）

※5月5日（水）は祝日のため休みになります。

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

※相談は無料です。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

外出しづらくひきこもり状態にある方の家族を対象に、つどいを開催します。

◆日 時：4月22日（木） 午後1時～4時

◆場 所：みんなのいえ（赤穂市塩屋656-17）

◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族

申込不要

時間内
出入り自由

◆参加費：無料

◆問合せ先：下記までお問合せください。

※つどいは、毎月第4木曜日 午後1時～4時に開催しています。

賛助会費ありがとうございました

【個人】松田 利一 御代 邦子（敬称略）

【法人】赤穂点灯会

福祉の拠点をみんなで支えてください。

●法人会費 5,000円

●個人会費 2,000円 ●一般会費 500円



賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

移送サービスボランティア 実習講座

車いすを利用されている方の通院を支援する活動（移送サービス事業）を行うボランティアを養成する講座です。一緒に活動してみませんか？

日 時：5月12日（水） 午前10時～正午

場 所：総合福祉会館 2階研修室

対 象：市民10名

講 師：移送サービスボランティア

「てんとうむし」会長 戸谷 喜伴 氏

受講料：無料

申込締切：5月7日（金）

申込方法：下記までご連絡
ください。



あなたのやさしさを善意の窓口へ

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況(3月1日～3月31日受付分)

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター



●委任預託

（敬称略）

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
—	匿名	4,084	解散残金を
—	匿名	30,000	福祉のために
中 広	匿名	11,000	福祉のために
尾 崎	匿名	2,000	車椅子借用御礼
塩 屋	桜谷 荘	495	善意の募金箱
中 広	総合福祉会館	10,100	善意の募金箱
御 崎	老人福祉センター 万福	2	善意の募金箱
加 里 屋	市役所社会福祉課	237	善意の募金箱
—	書道サークル 城西	5,299	解散残金を
坂 越	匿名	10,000	車椅子借用御礼
さつき町	樋口 素弘	5,000	車椅子借用御礼
有年横尾	横山 博好	2,000	車椅子借用御礼
尾 崎	匿名	10,000	車椅子借用御礼
尾 崎	籠谷 義則	50,000	家族の健康に感謝して
—	匿名	20,000	福祉のために

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎



◎ちよこつこつ話が好きで、毎回楽しみに読ませていただいております。

2020年2月号の、障がいのある方が買い物帰り、中学生に「荷物を持ちましようか」と、声を掛けられた話。ちよこつこつ話のじゃなく、めっちゃめっちゃいい話ですね！とても感動して、私も読みながら涙が出ました。

1年も前の話なのに、まだずつと心に残っています。幸せな気持ちにしてみたいました。ありがとうございます。(みーちゃん)



『ちよこつこつ話』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。200字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

卒業して不用になった学生服・体操服ありませんか？



社協では、学生服や体操服のリユースに取り組んでおり、不用になった物品を回収し、必要な方へ随時無料でお渡ししています。

◎回収している物

市内小・中・高校指定の学生服・体操服

×回収できない物

- ・破損やリメイクした物
- ・カビや虫食いがある物
- ・仕様変更した学校の物
(現行の仕様を確認してください)

(寄付の方法)

福祉会館にて、学校名と物品名(サイズ)などを用紙に記入し、お渡しください。

※物品は、洗濯またはクリーニングをしてから持ち込んでください。

物品が必要な方は、随時お渡しが可能です。在庫一覧や、本事業についての詳細は、社協ホームページをご覧ください。

ひとり親家庭サポート事業利用者募集!

家族団らんの時間確保や家事軽減を図り、心と身体をリフレッシュする時間を多く持てるように支援するとともに、地域社会とのつながりを深めることを目的に、手作りお弁当を配達しています。

対象：①20歳未満の子どもを扶養するひとり親と家族
②ひとり暮らしの視覚障がい者

日時：毎月第3土曜日の昼食
※令和3年度:8月・11月・1月は休み

利用料：1食300円

申込み：利用申込書を記入の上、社協窓口に提出
※申込書は社協窓口かホームページからダウンロードできます。

問合せ：下記まで



生活福祉資金 新型コロナウイルス特例貸付

6月30日(水)まで受付期間を延長します

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少等がある世帯に対する生活福祉資金特例貸付の新規貸付の申請受付期間を6月30日(水)まで延長します。

詳細については、兵庫県社協・赤穂市社協ホームページ、Facebook、または下記までご確認ください。

編集後記

段々と暖かくなり、体を動かすのに良い時期になってきましたね。私は山に登ったり自転車に乗るのが好きなので、これからの季節がとても楽しみです。コロナウイルスの感染対策もしつつ、季節の自然が感じられる場所を探しに行きたいです。皆さんのお気に入りの場所はありますか？ (川)

ご意見・問合せは ホームページもぜひご覧ください!

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397

FAX 0791-45-2444

E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



最新情報は、facebookをチェック!



赤穂市社協

